

医歯学祭を終えて

口腔生命福祉学科3年 春 山 海 帆

2017年度第七回医歯学祭にて歯学部実行委員長を務めさせていただきました、口腔生命福祉学科三年の春山海帆です。今年の医歯学祭は、台風の影響により中止が危惧された場面もありましたが、無事に二日間開催することができました。

今回、私たちは「百花斉放#Flourish」というテーマを掲げていました。これは、「医学部・歯学部の学生一人一人が持つ能力で新潟大学旭町キャンパスにたくさんの花を咲かせるようなイベントにしたい」という想いからです。さらに、二つの学部間の交流のみならず、地域の方々との交流を深めることを目的とした取り組みにもなりました。皆様から見て、これらの目標は達成されていましてでしょうか。

第七回医歯学祭では主に、クラス・部活・有志等の団体による模擬店、部活対抗・模擬店対抗・ミスコンのステージ企画などが様々なアイデアをもとに企画・運営されました。これらのイベントでは、今まで交流のあった仲間だけではなく、準備を通して知り合った人、イベントの会場で偶然居合わせた人などとの新しい絆が生まれる場面が見られたように感じました。他には学部の特色を活かした講演会、赤ちゃん抱っこ・妊婦体験、無料歯科相談などもありました。これらは学生も地域の方も参加しやすいイベントです。今の日本の医療の最先端や現場のこと、普段学生が学んでいることを他学部の生徒や地域の方々知ってもらえるという貴重な機会だったと思います。また、盲導犬と触れ合うブースや地域の方々によって出

品されるバザー、今年から導入した受験相談などではより地域との交流を深めることができたのではないのでしょうか。また、studio NEXSで行われた後夜祭では、新潟市内の各学校から集められた候補者によるミスコンや、特別ゲストのサリト先生による大型マジックショーなども開催され、大盛り上がりの締めくくりとなりました。他にも実行委員会が力を入れて取り組み、様々な方からの協力を得て運営したイベントは多数あります。しかし、全ての企画を細かく紹介することはなかなか叶いませんので、当日に撮影した写真から少しでも二日間の雰囲気を感じ取っていただけたらと思います。

このように、新潟大学医歯学祭は、旭町キャンパスを拠点とし、医療や人間関係を活かしながら、学生たちが工夫を凝らした内容となっております。今回で第七回を迎え、歴史が積み重なってきたことで、先輩方が築いてくださったシステムや地域との関係性にも大変助けられました。もし、これを読んでくださっている皆様が医歯学祭についてよくご存じないのであれば、次回はぜひ会場に足を運んでいただきたいです。

最後になりましたが、第七回医歯学祭の開催にあたり、お力添え頂きました先生方、学友会、OB、各学部の学務係、協賛企業、地域住民の皆様、また、会場に足を運んでくださった皆様、誠にありがとうございました。今後とも新潟大学医歯学祭をよろしく願い致します。

